国別開発協力方針　別紙

対ホンジュラス共和国　事業展開計画

2024年 4月 現在

基本方針（大目標）	地方活性化施策を中核とした持続的な社会経済開発への支援

重点分野１（中目標）	地方開発											
開発課題１－１（小目標） 社会経済基盤強化	【現状と課題】 貧困問題を緩和し開発を促進するための課題として、基礎的インフラの未整備、脆弱な生産基盤、限定的な生計手段等が挙げられる。また都市部への人口流入に伴う貧困問題の都市部への拡大を踏まえ、都市部・農村部双方での安定した社会経済開発が必要。全国的な横断課題として、質の高い雇用の創出や物流促進のためのインフラ開発に加え、都市部では、外国投資の誘致や今後の同国の成長を支える若年層の人材育成、農村部では地域の産業育成、中小零細企業の生産力向上が挙げられ、右への支援が必要とされる。		【開発課題への対応方針】 ・低所得者層の生計向上や地場産業の推進 ・中小零細企業の振興 ・安定した物流の確保のための主要道路等の基盤整備 ・農村部の生計手段の多様化								
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額（億円）	SDGs	備考
				2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度			
	地域経済振興プログラム	国道一号線協力架け替え計画	無償							23.98		
		道路計画策定ツール構築アドバイザー	個別専門家									
		サンペドロスーラ地域道路セクターにかかる情報収集・確認調査	基礎情報収集(有償)									
		中米地域物流ロジスティックス開発マスタープラン実施促進・モニタリングにかかる広域アドバイザー	個別専門家									広域（エルサルバドル）
		道路アセットマネジメント技術の中核人材育成（2024～2026年度）	課題別研修									
		地域に根差した金融包摂推進を通じた貧困削減プロジェクト	技プロ							4.52	1,8,10	
		一村一品運動広域アドバイザー	個別専門家								8	広域（グアテマラ）
		中小企業の品質・生産性向上支援に係るファシリテーター育成	個別専門家								8	
		SICA地域におけるテリトリー単位の農業農村開発のための能力強化	国別研修									広域（エルサルバドル）
		SICA農業・農村開発アドバイザー	個別専門家								1,15	JICA内調整中 広域（コスタリカ）
		コパン遺跡博物館展示機材整備計画	一般文化								4	
		エコミュージアム構想による市民参加型まちおこし支援プロジェクト	草の根技協									
		SICA地域持続可能な観光/コミュニティベースドツーリズム振興のための能力強化プロジェクト	技プロ									広域（エルサルバドル）
		持続的地域開発に関する課題別研修	課題別研修他								1	

開発課題１－２ （小目標） 質の高い社会サービスの普及	【現状と課題】 貧困層の底上げには、保健医療、教育、水資源等多様なセクターにわたる社会サービスが必要であり、右基礎的社会サービスへのアクセスについては、特に農村部における改善が求められるとともに、都市部の急速な人口増加に伴うサービスの拡大など、各地域のニーズと合致した質の高い社会サービスの普及が必要。また右公的サービスの実施を担い、サービスの質を管理する地方自治体の能力強化も同時に求められる。さらに地域の経済活性化のボトルネックとなる治安問題を改善するための、行政による暴力と犯罪の防止のための取り組みも全国的課題となっている。		【開発課題への対応方針】 ・教育・保健・水等の基礎的社会サービスの普及と充実 ・地方行政の実施能力強化 ・防犯体制の普及を通じた治安改善									
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	SDGs	備考
				2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度			
	社会サービス強化プログラム	SDGsに資する参加型自治体計画改善プロジェクト（FOCAL4）	技プロ	■	■	■	■	－	－	2.50		
		持続可能な開発に向けた透明性及び健全性向上プログラム・ローン	有償	－	■	－	－	－	－	133.90	16	
		地域住民の参加を通じた地域警察活動促進支援	個別専門家	■	■	■	－	－	－		11,16	
		マネーロンダリング・違法行為捜査能力向上	現地国内研修	－	■	■	■	－	－		1,11	
		地域開発を促進する人材の能力向上のための研修システム強化	個別専門家	－	－	■	■	－	－		11	
		社会経済開発人材育成のためのホンジュラス国立自治大学修士課程強化プロジェクト	技プロ	■	■	－	－	－	－	3.10	4，16，17	
		きれいな街のための中核人材育成（2024年～2026年度）	課題別研修	－	■	■	■	－	－		11.00	
		保健サーベイランス国立研究所建設計画	無償	■	■	■	－	－	－	14.40	3	
		保健サービスネットワーク（RISS）を通じた保健サービスデリバリー強化プロジェクト	技プロ	■	■	■	■	－	－	6.28	3	
		医療機材整備計画協力準備調査	協力準備調査（共通）	－	－	▪	▪	－	－	2.00	3	
		医療機材整備計画	無償	－	－	－	▪	▪	▪	12.00	3	
		病院ネットワーク強化事業	有償（円借款）	■	■	■	■	■	■	117.03	3	
		テグシガルパ市無収水対策プロジェクト	有償附帯プロ	－	－	■	■	■	■	5.00		
		SDGsグローバルリーダー（2021-2023年度）（中南米）	課題別研修他	■	■	■	－	－	－		16	
		SDGsグローバルリーダー（2024～2026年度）	課題別研修他	－	■	■	■	－	－		16	
		子どもの学びの改善（2024～2026年度）	課題別研修他	－	■	■	■	－	－		4	
		SICA地域協力アドバイザー	個別専門家	■	■	－	－	－	－		16	広域（エルサルバドル）
		SICA地域協力アドバイザー	個別専門家	－	－	■	■	－	－		16	広域（エルサルバドル）
		地方自治体能力強化を含む社会・経済開発分野のJICA海外協力隊	個別専門家	■	■	■	■	■	■		8，16	
		保健医療分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■	■	■	■	■		3	

		基礎教育分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■	■	■	■	■		4	
		教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	–	–	–	–		4	
		医療・保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	–	–	–	–		3,11	
		中米諸国における新型コロナワクチン接種促進に係る緊急無償資金協力	緊急無償	■	■	–	–	–	–	2百万USD	3	コールド・チェーン整備 UNICEF連携

重点分野２ （中目標）	防災及び環境・気候変動対策											
	【現状と課題】 ハリケーンや地震など自然災害リスクの高い当国では、気候変動に伴い災害に強いインフラの整備が益々重要になっている他、災害時の行政および住民の対応能力の強化が不可欠。防災や減災の考えの一層普及、災害への脆弱性改善が引き続き課題であり、ハード・ソフトの両面で災害に強い社会づくりが求められている。			【開発課題への対応方針】 ・災害に強い社会をつくるための計画・インフラ整備								
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	SDGs	備考
				2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度			
開発課題２－１ （小目標） 自然災害対策	災害に強い社会づくりプログラム	バジェ・デ・スーラ都市圏洪水対策マスタープランプロジェクト	開発計画	–	■	■	■	■	–	4.00	9, 11	
		国道六号線橋梁建設計画	無償	–	■	■	■	■	–	30.00	9,11,15	
		首都圏斜面災害対策管理プロジェクト	技プロ	■	■	■	–	–	–	4.75	11, 13	
		ホンジュラス国斜面災害検知装置に係る普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業	■	■	–	–	–	–		9, 11, 13	
		経済社会開発計画	無償	■	■	–	–	–	–	5.00	11,13	ハリケーン災害復興関連機材供与
		経済社会開発計画	無償	■	■	■	–	–	–	3.00	2, 13, 15	農業関連機材供与

開発課題２－２ （小目標） 環境保全・気候変動リスク	【現状と課題】 ハリケーンや地震など自然災害リスクの高い当国では、気候変動に伴い災害に強いインフラの整備が益々重要になっている他、災害時の行政および住民の対応能力の強化が不可欠。防災や減災の考えの一層普及、災害への脆弱性改善が引き続き課題であり、ハード・ソフトの両面で災害に強い社会づくりが求められている。		【開発課題への対応方針】 ・災害に強い社会をつくるための計画・インフラ整備										
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額（億円）	SDGs	備考
				2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度			
	気候変動リスクの緩和プログラム	カニャベラル及びリオ・リンド水力発電増強事業	有償	■	■	■	■	■	■	160.00	7,9,11	
		感染性廃棄物管理改善計画	無償	■	■	■	■	■	－	10.13	3	
		統合固形廃棄物管理のための自治体連携管理モデル確立プロジェクト	技プロ	－	■	■	■	－	－	2.38	11, 13, 15	
		SICA 地域における越境生態系保全モデル強化	個別専門家	－	－	■	■	－	－		13, 15	
		環境保全分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■	■	■	－	－		13	
		環境保全分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	－	－	－	－		11,13	
		電力分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	－	－	－	－		7	

【凡例】　「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修、長期研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型、SATREPS））「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、「ニーズ確認調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」）、「ビジネス化実証事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」）、実線「――」（＝実施期間）、破線「－－－」（＝実施予定期間）　※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf